



試料作製 “ワンポイントアドバイス” 自動研磨におけるバフと砥粒の組み合わせ

バフと研磨剤の組み合わせは重要なポイントです。試料に適した選択をしましょう。

- ① 15-6 μm 研磨剤：耐水研磨紙のキズを早く取り除くためのバフ
例：テックスメットP、ウルトラパッド、ナイロン（図A）
- ② 3-1 μm 研磨剤：深いキズを取り平坦にするためのバフ
例：ベルドテックス、トライデント、テックスメットC（図B）
- ③ 1-0.02 μm 研磨剤：全てのキズを除去して材料本来の姿を現出するためのバフ
例：マイクロクロス、マスターテックス（図C）



動画はビューラーホームページに掲載しています <https://www.buehler.jp/buehler-videos.php>

*ご紹介した研磨剤とバフの組み合わせは一般的なガイダンスです。試料によって異なります。

ビューラーSumMet 法をご参照ください。 <https://www.buehler.com/methods-by-materials.php>

*トピックは予告なく変更となることがございます。